

令和5年12月7日会議概要

第1 日時

令和5年12月7日（木）午前9時20分から午前11時25分までの間

第2 出席者

増田委員長、在田委員、池坊委員、森委員、森田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、京都市警察部長、情報通信部長等

《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 委員報告

第58回京都府交通対策協議会（12月5日）

委員から、「府内の交通事故発生状況について事務局からの報告の後、令和6年年間交通安全府民運動京都府実施要綱案について審議がなされた。」旨、報告があった。

2 議題

(1) eラーニング等による看守補勤者教養の試行実施について

総務部長から、各警察署において広く看守補勤者を確保することを目的として、eラーニングシステムを活用した教養を実施することとした旨、報告があった。これまで各署においては、概ね3時間確保して座学教養等を行っていたが、eラーニングを活用することで、教養実施者や受講者の負担軽減や教養内容の斉一化、修了テストによる理解度確認等の効果が得られるもので、テストに合格した受講者を対象に実習教養を行い、看守補勤者として登録する。本格実施に向けてしっかり取り組んでいく旨、説明があった。

委員から、「効率化と標準化を図ることは大変重要なことである。よろしく願います。」旨、発言があった。

(2) 東山区本町八丁目における男性殺人被疑事件の発生について

刑事部長から、令和5年12月3日、京都市東山区所在のマンション内において発生した殺人事件について、翌4日、東山警察署に捜査本部を設置し、事件の解決に向け取り組む旨、報告があった。

委員から、「ご苦勞ですが、解決に向けしっかり願います。」旨、発言があった。

(3) 「ポリス&カレッジ in KYOTO 2023」発表会の開催結果について

交通部長から、府内の大学生が交通安全をテーマに調査・分析・研究して、その結果を発表する「ポリス&カレッジ in KYOTO 2023」発表会を11月12日警察学校で開催した旨、報告があった。本取組は、学生から柔軟な発想、実効性のあるアイデアを募り、実現に向けて検討していくもので、平成30年にスタートした。今回は「自転車ヘルメットの着用促進」をテーマに、4大学10チームから発表があり、提案の趣旨を採択し、今後の対策に結びつけていきたいと考えている。提案の内容は、警察署とも情報共有し検討していきたい旨、説明があった。

委員から、「学生自らが自転車のヘルメット着用をテーマにアイデアを出すことで、当事

者意識が高まる。今後は参加大学の拡大も視野に継続して取り組んでいただきたい。」旨、発言があった。

(4) 集会、集団行進及び集団示威運動に関する条例の許可状況について（11月申請分）

警備部長から、令和5年11月中に申請が許可された「集会、集団行進及び集団示威運動に関する条例」に基づく、集会、デモの状況について報告があった。

(5) 本部長総括

本部長から、「警察は、代替性のない機関であるがゆえに、府民、国民の意見を謙虚に受け止めなければならないと考えている。府民から見て『警察の常識は世間の非常識』と思われるようなことがあれば、警察組織の魅力や信頼を失ってしまうことになりかねないという自戒の意識をもって、今後も警察業務の運営に当たっていきたい。」旨、発言があった。

(6) 監察案件

首席監察官から、監察案件1件について報告があった。

3 個別決裁

(1) 京都府公安委員会に対する審査請求の裁決について（2件）

監察官室訟務官から、運転免許の更新処分を受けた者（1件1名）及び運転免許の取消処分を受けた者（1件1名）から、原処分を不服として審査請求がなされたことに伴い、審査請求の概要等について説明があり、審議の上、審査請求の棄却を決定した。

(2) 公安委員会宛て苦情について（受理1件）

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛ての苦情等申出に関して、受理1件の報告があり、処理方針を決定した。

4 聴聞等

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、14件の行政処分を審議した。

5 個別報告

(1) 「京都府犯罪のない安心・安全なまちづくり計画」の中間案について

警務部長から、「京都府犯罪のない安心・安全なまちづくり計画」の改定に当たり、外部委員から聴取した意見等を踏まえた中間案について報告があった。

(2) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。